

日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)・中外製薬共催企画2024

企画内容	<p>別内容で2回のオンラインセミナー開催を実施。 対象を資格未取得者と取得済みの者とターゲット別開催</p> <p>1) ベーシックセミナー(資格未取得者向け) 薬剤師としてのキャリアを考える際の参考になる講演</p> <p>2) アドバンスセミナー(資格取得者向け) 弊社製品領域(肝細胞がん)に関する最新知見 資格運用活発施設(薬剤師外来やTR)の事例・工夫共有</p>
目的	<p>「がん」に興味がある薬剤師への勉強機会創出／キャリア応援 外来がん治療認定/専門薬剤師(APACC/ BPACC)認知度向上 APACC, BPACC新規参加者の増加 APACC, BPACC資格取得・継続のモチベーション維持 APACC, BPACC薬剤師の多方面での活躍の共有 APACC, BPACC薬剤師の院内活躍によるがん医療水準の向上</p>
開催形式	eセミナー(中外製薬医療従事者向け情報提供サイト「PLUS CHUGAI」上にて配信※登録者限定公開)
開催時期	7月上旬～8月頃ベーシックセミナー 9月下旬～10月頃アドバンスセミナー
告知方法	中外製薬MRより学会非会員への直接案内 学会HPへの掲載、学会メーリングリストへのメール送付

日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)・中外製薬共催企画2024 ベーシックセミナー概要



企画名	ベーシックセミナー
対象	資格未取得薬剤師
目的	「がん」に興味がある薬剤師への勉強機会創出／キャリア応援 外来がん治療認定／専門薬剤師(APACC,BPACC)認知度向上 APACC,BPACC新規参加者の増加 APACC,BPACC資格取得・継続のモチベーション維持
開催形式	eセミナー(中外製薬医療従事者向け情報提供サイト「PLUS CHUGAI」上にて配信※登録者限定公開)
開催時期	8月初旬～9月中旬頃
開催時間	平日 夕刻 1時間20分 (30分 15分 15分 20分)
演者	3名(薬剤師3名)
プログラム	2セッション設置する(講演+ディスカッション) セッション1(60分):講演 講演①(30分):薬剤師のキャリアパスに関して 講演②(15分):病院薬剤師のキャリア(外来がん治療認定／専門薬剤師 病院の立場から) 講演③(15分):薬局薬剤師のキャリア(外来がん治療認定／専門薬剤師 薬局の立場から) セッション2(20分):ディスカッション「薬剤師のキャリアパスを考える」

日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)・中外製薬共催企画2024 ベーシックセミナー内容詳細



会合名	ベーシックセミナー		備考
セッション1 (60分)	座長	(案)東京病院 薬剤部長 近藤直樹先生	
	講演① (30分)	「キャリアパスを今どう考えていくか」	薬剤師としてのキャリアの考え方を解説いただく。キャリアの一つとして、外来がん治療認定／専門薬剤師の資格のみならず、様々な専門薬剤師の活躍機会ややりがいを講演いただく。キャリアアップだけがキャリアではなく多様化する社会で薬剤師のあり方を展望も合わせご講演いただく。
		昭和大学病院／昭和大学薬学部病院薬剤学講座 縄田修一先生	
	講演② (15分)	「病院薬剤師におけるキャリア」	病院薬剤師は部署異動／施設移動があることは事実であるが、その中でも資格を取得された経緯やモチベーションに関して解説いただく。
		薬剤師外来や化学療法室で活躍している病院薬剤師 (外来がん治療認定／専門薬剤師)	(案)阪田 安彦先生 広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院 薬剤部
	講演③ (15分)	「薬局薬剤師におけるキャリア」	店舗移動やライフスタイルの変化により、がん治療薬に関わらないタイミングを経験しながらも、外来がん治療資格を取得する意義等を等身大で解説いただく。
薬局勤務の外来がん治療認定／専門薬剤師		(案)クオール薬局つづき店 薬局長 菅 美佳先生	
セッション2 (20分)	座長	日本臨床腫瘍薬学会 理事メンバー	(案)KKR札幌医療センター 玉木慎也先生→慶應義塾大学病院 櫻井洋臣先生→京都大学医学部附属病院 野村久祥先生
	ディスカッション (20分)	「薬剤師のキャリアパスを考える」	薬剤師の働き方も多様化している中で薬剤師業務のやりがいやモチベーションの維持について考える。「がん」に興味を持った薬剤師がスキルとして身に着けられることは何かを考える中で、APACC／BPACCは多様性を生かしながらも取得・継続できる資格であることを訴求する。
	ディスカッサー	(案)近藤先生、縄田先生、演者②、演者③、(川添先生)	

日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)・中外製薬共催企画2024 アドバンスセミナー概要



会合名	アドバンスセミナー
対象	外来がん治療認定／専門薬剤師(APSCC,BPACC薬剤師)
目的	APACC,BPACC継続のモチベーション維持 APACC,BPACC薬剤師の多方面での活躍の共有 APACC,BPACC薬剤師の院内活躍によるがん医療水準の向上
開催形式	eセミナー(中外製薬医療従事者向け情報提供サイト「PLUS CHUGAI」上にて配信※登録者限定公開)
開催時期	9月中旬～11月
開催時間	平日 夕刻 1時間30分程度(50分 15分 15分 10分)
演者	3名(医師1名・薬剤師2名)
プログラム	2セッション設置 セッション1(50分) 特別講演:薬理的側面から免疫チェックポイント阻害剤と抗VEGF薬の併用意義に関して セッション2(40分) 講演①(15分):「薬剤師外来・外来化学療法室の効率化」 講演②(15分):「トレーシングレポートや、がん患者フォローの工夫」 ディスカッション(10分):「薬薬連携の実状」

日本臨床腫瘍薬学会(JASPO)・中外製薬共催企画2024 アドバンスセミナー内容詳細

会合名	アドバンスセミナー		備考
セッション1 (50分)	座長	日本臨床腫瘍薬学会 理事メンバー	(案)和田先生の場合 縄田先生 和田先生以外の場合 東京薬科大学 鈴木賢一先生
	特別講演 (50分)	「なぜ免疫チェックポイント阻害剤と抗VEGF薬を組み合わせるのか?(仮)」 (案)昭和大学病院 腫瘍内科学 和田 聡 先生	弊社製品領域(肝)に関する最新知見を薬理的観点から解説いただく。
セッション2 (40分)	座長	日本臨床腫瘍薬学会 理事メンバー	(案)自治医科大学附属病院中澤 寛仁先生 or つくし薬局大塚先生 ➡総合メディカル株式会社 下川友香理先生 ➡ミキ薬局田端店長 長久保久仁子先生
	講演① (15分)	「薬剤師外来・外来化学療法室の効率化」	2024年の診療報酬改定で「病院薬剤師業務の評価」が盛り込まれ、病院薬剤師による情報提供や処方提案の部分が見直される。積極的に運用をしている施設から現状と工夫をご講演いただく。
		病院:外来がん治療認定/専門薬剤師	(案)横浜南共済病院外来化学療法センター橋口宏司先生 ➡埼玉医科大学国際医療センター藤堂真紀先生
	講演② (15分)	「トレーシングレポートや、がん患者フォローの工夫」	チェーン薬局店に勤め勤務体系が変わる中、外来がん治療専門薬剤師としての役割を發揮されたご経験をお話しいたします。
薬局:外来がん治療認定/専門薬剤師		(案)ナカジマ薬局桑園店 山崎友里絵先生	
ディスカッション (10分)	セッション1座長・セッション2座長・演者①・演者② テーマ「薬薬連携の実状」	「薬薬連携」の重要性が語られ久しいが、実状について考える。病院薬剤師 薬局薬剤師の立場から、どの程度の連携があれば充分であるか、まだ連携が足りていないのか視聴者が自施設を振り返り考える機会にする。	